



泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>

運動会という行事の中で育まれるもの

校長 森田 芳栄

青葉にそよぐ薫風がさわやかな季節となりました。11日（土）、青く澄み渡った空の下、たくさんの保護者の方々、地域の方々においでいただき博労っ子運動会を実施しました。最後まであきらめずに一所懸命ゴールを目指す姿や仲間のために声を枯らして応援する子供たちの姿は、とても眩しく見えました。一人一人ががんばり、友達と協力し合うことで、自己肯定感や自己有用感も高まったのではないかと感じています。『精一杯がんばれた自分』に自信をもち、これからも仲間と一緒にいろいろなことに挑戦してほしいと思います。



大きな学校行事は、子供たちの成長を促します。特にこのように1年生から6年生が揃う場面では、小学校6か年はとても意味深く、この間に行われる異学年の交流が子供たちの成長にとって大変貴重であるということをしみじみと感じます。上級生を敬う気持ちと下級生を思いやる気持ちが、その関わりの中で確実に育まれていきます。6年生は、応援で他学年の子供たちをリードしたり、5年生と一緒に係の仕事を行い、運営を担ったりしてくれました。最後の会場片付けでも、「やらされ感」を感じることもない利他的な働きぶりに、私自身、清々しい気持ちで運動会を終えることができました。また、高学年競技のため、5、6年生がいなくなった団席では4年生がリーダーとなって声援をおくる場面もありました。「かっこいい」6年生さながらのかけ声で、とても頼もしく感じました。こうやって下級生は6年生の姿をしっかりと目に焼き付けながら、『博労魂』を受け継いでいくのだと嬉しくなりました。

そして、運動会当日は、PTA執行部の皆さんが朝早くから準備作業をしてくださいました。運動会終了後には執行部をはじめ保護者の皆さんが進んで片付けに加わってくださいました。本当にありがとうございました。

さて、新年度がスタートして1か月半。ありがたいことに多くの保護者のみなさまが子供たちの登校を見守ってくださっています。子供たちにとって、新学期は期待と共に様々な緊張感を感じる時期です。うまくいかないことがあったとき、話を聞いてくれ、温かく励ましてくれる家族、家庭は、お子さんにとって大事な安心基地です。忙しい日々の中で、「ねえ、ねえ」と子供が話しかけてきたとき、ちょっと手をとめて子供の話に耳を傾ける心のゆとりをもちたいものです。学校も、子供たちにとって安心できる居心地のよい場所となるよう、一人一人に目を向け、耳を傾け、心をつないでいく関わりを心がけてまいります。



博労っ子日記「たいさんぼく」



【4月16日】BFC編成式（5,6年）



5、6年生で少年消防クラブを編成しました。新しく加入した5年生には、BFCバッジが授与されました。防火の意識を高め、火災のないまちづくりに努めます。

【4月19日】授業参観・PTA総会



今年度最初の授業参観。はりきっています。R6 PTA 活動もスタートしました。テーマは『3た運動～大人の本気は子供に伝染る～』です。

【4月23日】元気キッズ 結団式



結団式を行い、『元気キッズ 2024』の取組を始めました。今年は体育的活動に加え、ボランティア参加や文化的活動もポイントに加算されます。

1年生の仲間入りを祝して6年生がエールを送りました。

【5月2日】1年生おめでとう集会



2年生が1年生を招待して集会を開きました。ゲームやクイズを工夫して楽しみました。早く仲良くなりましょうね。

【5月11日】博労っ子運動会 すてきな思い出がたくさんできました。



がんばった！やりきった！友達と力を合わせてがんばった運動会は最高でした。そのあと家族と一緒に食べたお弁当も最高!!

ご家族のみなさま、ありがとうございました。